



# 越中福岡の菅笠製作技術保存会通信

— 国の重要無形民俗文化財指定 —

2015年1月 No.18

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12  
福岡総合行政センター 地域振興課内  
TEL.0766-64-5333 FAX.0766-64-5344



★かさぼんこの秘密★ にゃんと、かさぼんこの性別はオス！三毛猫のオスは出生率が数万分の1らしく、希少性から幸運を招き、とても縁起がいいにゃん。コスプレ大好きの2才。これからもよろしくにゃん♪



## 頌春

越中福岡の菅笠製作技術保存会  
会長 木村昭二

寒さ厳しき折柄、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私達菅笠保存会の会員も、年々高齢化が憂慮されていますが、「高齢化なんのその」の気持ちで私も今年で88歳になりますが、「医者と薬は無縁」で毎日笠骨づくりに励んでおります。皆様もお体大切に奮闘をお祈り申し上げます。

## スゲガール！再び東京で笠縫い実演



東京（荒川区南千住）の荒川総合スポーツセンターで、区内外の伝統工芸技術保持者を中心に約60名が技術の実演・作品展示等を行う「第35回あらかわ伝統技術展」が、7月4日（金）～6日（日）に開かれ、向井美智子さん・赤尾節子さん・山本百合子さんが笠縫いの技を披露しました。



乙女笠、似合ってます！

東京での実演はこれが二度目。東京在住の富山県出身の方も沢山訪れ「懐かしい！」と瞳はウルウル。菅笠を実際に被って軽さを実感してもらい、「菅笠って編むのではなく、縫うのか…」「全て手作業とは知らなかった…すごすぎる！」と、来場者は職人の実演に見入っていました。



## 加茂長寿会による笠縫い研修

5月29日(木)加茂長寿会が地域ぐるみで「第2回笠縫い講座」を行い、加茂集会場に50～70代の女性12名が参加しました。「伝統を残したい」と、講座開設を呼び掛けたのは林英昭さん。林すず子さんに3月から笠縫いの指導を受けている受講者は、「スゲの扱いが難しいが、縫い仕事が好きなのでとても楽しい」と笑顔で一針一針丁寧に縫っていました。

また、テレビ朝日の「スーパーJチャンネル」の取材があり、「ニッポンのものづくりを守れ！後継者ゲット大作戦」が放映されました。地域から担い手育成の動きが出るのはとても嬉しいことで、伝承への希望が膨らみます。



## 菅田応援団の皆さん、ご協力ありがとうございます！



### 「間引き」

4月23日(水)、越中福岡スゲ生産組合による鳥倉試験田のスゲ間引き作業が行われました。一株当たり3本程度残し、余分なスゲを竹棒で土の中に押し込んだり抜いたりします。間引きにより葉身幅が広く、草丈の長い良好なスゲが育ちます。

応援に出た筆者も「このスゲを残すか、あのスゲを残すか…」悩みながらスゲをギュッと押し込んでいると足に力が入るせいか、長靴が土から段々抜けなくなってしまいました。「せっかく育ったスゲがもったいない」と思わずに、手早く土の中に押し込み、前進あるのみです！

### 「スゲ刈り」

7月20日(日)・26日(土)、両日共に最高気温が30℃を超える暑いなか、スゲ刈りが行われました。26日(鳥倉)は菅田応援団の富山大学「援農団体たっぐ」の皆さんが参加しました。刈り取った長いスゲの扱いが難しく、ノコギリ状になったスゲで手を切らない様に注意しながらまとめ、天日干ししました。中腰作業は大変疲れますが、延々に並ぶ美しいスゲを見たら、疲れも吹き飛びます。



## スゲ生産拡大研修会

越中福岡スゲ生産組合による「スゲ栽培技術講習会」が、9月19日(金)に行われました。スゲ栽培に関して分からないこと・困っていることを調査した結果、①スゲのすす病について、②虫害に応じた農薬について、の質問が多数ありました。

詳しくは越中福岡スゲ生産組合(64-8600 JAいなば福岡支店内)、富山県高岡農林振興センター課長の藤井謙二さん(26-8477)にお問い合わせください。

## 平成26年度 総会

6月3日(火)、とよま・ふくおか家族旅行村(ロッジ山ぼうし)にて、平成26年度「越中福岡の菅笠製作技術保存会総会及び懇親会」が行われ、新理事として越後喜代さんと山岸俊清さんが就任されました。41名の会員が出席し、今年度は笠骨職人育成と並行して笠縫い職人育成に力を入れ、越中福岡スゲ生産組合と連携しながらスゲ栽培農家の後継者育成を図ることなどを協議しました。

総会後の懇親会ではお楽しみの民踊で盛り上がりました。



## 「ゲンカツ！」の取材

5月9日(金)・17日(土)、高岡ケーブルネットワークのコミュニティ番組「ゲンカツ!たかおか元気活動人」の撮影がありました。笠骨づくりを木村会長、笠縫いを小崎澄子さん・神庭あゆみさん、菅田芽かき作業を中島理事や越中福岡スゲ生産組合・ボランティアと多くの会員が行い、400年の伝統を守り継ぐ職人と、受け継ぐ担い手の接点について取材協力しました。



## 富山テレビの取材

8月7日(木)鳥倉で、県内の卓越した技を紹介する富山テレビ「月刊!元気とよま とよまに技あり」の撮影がありました。スゲ干しの風景や、笠縫いを、中島栄子さん・前田とし子さんによる取材協力しました。



## バケツスゲでおもてなし

通勤・通学で福岡駅を利用する人やまちに訪れた人に福岡町の特産物「スゲ」の成長を楽しんでもらうため、6月27日(金)に越中福岡スゲ生産組合と当保存会では、JR福岡駅前、(株)ウエルカム福岡、JAいなば福岡支店、いっぷく処にご協力をいただき、バケツスゲ50個を設置しました。8月の刈取り・スゲ干し後は、コースターなどのスゲ細工に活用しました。



## かさぼんこの「つくりもん」

9月23日(火)・24日(水)「つくりもんまつり」に出品した、堀川町自治会の「顔出し かさぼんこつくりもん」が福岡庁舎菅笠コーナーで来庁者をお出迎えだにゃん!じっくり見るとお豆さんぎっしりで、3月14日(土)開業の北陸新幹線とかさぼんこが作られているにゃん。見に来てにゃーん!



「つくりもんまつり」では、ミュゼ・ふくおかカメラ館前に設置されたにゃん!

「つくりもんまつり」期間中は、JR福岡駅2階に菅笠を展示し、お客様をお出迎えしたにゃん。

## ◆「第1回 菅笠展覧会・コンテスト」 作品大募集！

菅笠製作技術の向上と伝承、そして匠の技を広く知ってもらうため「第1回 菅笠展覧会・コンテスト」を開催いたします。

「共通部門」では、指定した笠を縫い展示します。菅笠が一同に展示されるのは平成になってから始めてになります。

「創作部門」では、アイデア笠やデザイン画、スゲ細工品などを募集します。皆さんふるってご応募ください。



### 共通部門募集要項

【募集内容】指定した菅笠（角笠1尺6寸、又は富士笠1尺4寸）

※笠縫い職人の皆様に、問屋又は菅笠展覧会・コンテスト実行委員会から個別に連絡いたします。

### 創作部門募集要項

【応募締切】平成27年3月20日（金）

【募集内容】①菅笠（市女笠や三度笠などの従来からの菅笠）。

②独自の発想で変化させた菅笠やデザイン画。

③スゲ細工（菅笠以外のスゲ細工品やスゲを使ったアイデア作品）。

④独自の発想のスゲ製品やデザイン画。

【材 料】必要なスゲや竹骨等は用意します。※実費がかかる場合もあります。

【応募先・問合せ先】菅笠展覧会・コンテスト実行委員会 TEL.0766-64-5333

（越中福岡の菅笠製作技術保存会内）



女性用の帽子「乙女笠」



スゲ細工／千支・羊

## ◆「第1回 菅笠展覧会」及び、表彰式・記念講演会

越中福岡の菅笠づくりの見どころを多くの方に披露します。講演会では、菅笠は絶対に必要とされていることなど、高岡にしかできない伝統の技について語ります。

【展 示】3月27日（金）～29日（日） ※最終日16：30まで

【場 所】ふくおか総合文化センター Uホール

【表彰式】3月29日（日）14：30～ 創作部門8点 【講演会】3月29日（日）15：00～16：00

## クルン高岡にボンコガールズ登場

高岡駅複合ビル「クルン高岡地下街」アートの路に「おまねき菅笠」をテーマに、歴史・用途・種類などについて展示しています。若者にも興味を持ってもらうために、笠を被せ縫い針とかさぼんこ（笠縫いの道具入れ）を持たせた、笠縫い集団ナイスボディの“ボンコガールズ”が初登場し、PRしています。



## 芭蕉と菅笠！

晩年の松尾芭蕉と親しかった画の名人の許六（きよろく 芭蕉の弟子のひとり。晩年に入門）による「奥の細道行脚之図」（天理大学附属天理



図書館蔵：部分）。旅の出発に千住（東京都荒川区）の地で、菅笠を手に出発の句を詠んでいます。荒川区とは縁が深い！